

第2週 霊的虐待の定義

1. ご挨拶・歓迎の言葉(10分程度)

- A. 新しい人がいる場合自己紹介
(先週行った人は、名前と住んでいるところなどでOK)
 - このグループに期待することは何ですか？希望など

2. グループガイドラインの確認(5分程度)

初回以降は「ガイドライン」のみ

📖 ひまわりの小路(こみち) グループガイドライン

ガイドライン—安心して参加できる環境作りのため、以下のルールをお守り下さい。

1. 守秘義務を守ること

グループ内で共有される内容は個人的にプライベートな情報であり、とてもデリケートな問題です。グループの中で話されたことを外部で話さないで下さい。ご自身の体験談や個人的な成長については、ご自由にお話し下さい。

2. 発表者の話に集中すること

人の話を聞いているときに、自分自身の体験について話し出す時があります。しかし、誰かが話しているときに、自分自身の話をすることは、グループの注意を、話し手が共有している話題から、自分自身に向けてしまうこととなります。発表者の話に集中しましょう。

3. 他の人が意見を述べているときは、発言を最後まで聞くこと

4. 話す時間を一人で独占しないように配慮すること

司会者が全体の進行のため時間を調整しています。発言を終えるよう、声をかけさせていただく場合があります、ご了承ください。

5. 互いの考えや感じ方を尊重する

6. まず聴く。直さない、アドバイスしない

人々の旅を尊重すること。良い牧者である主が、傷んでいる人を導かれるタイミングに信頼する。すぐにアドバイスをしたいという誘惑に負けないようにしましょう。

ひまわりの小路(こみち)—霊的虐待からの回復を支援するグループ

3.今日のストーリー(約20-25分)

プレゼンターによる発表

質問と分かち合い

4.グループタイム

第2章 霊的虐待の定義

Oakley, L., & Humphreys, J. (2019). *Escaping the maze of spiritual abuse: Creating healthy christian cultures*. SPCK Publishing.

「霊的虐待は、感情的・心理的虐待の一形態である。宗教的な背景の中で、強制的で支配的な行動を組織的に行うことが特徴です。霊的な虐待は、それを経験した人々に深いダメージを与えます。この虐待には、操作と搾取、説明責任の強制、意思決定の検閲、秘密と沈黙の要求、同調圧力、聖典や教えの使用による支配、虐待者への服従の要求、虐待者が『神聖な』立場にあることの示唆、罰の手段としての孤立、優越主義とエリート主義などが含まれる」(Oakley, 2018)。2章

- あなたの体験したことは何に対する侵害や不当な扱いであると思いますか？
- あなたが虐待の的ではない場合。虐待的な環境は私に関係がないことか？影響はないのか？
- 私が感じていることは正しいのか？どのように確かめるか、定義するか。

ひまわりの小路(こみち)ー霊的虐待からの回復を支援するグループ

5.Hope Path(20分)

[Hope Paths](#)を使って、いま自分がいるところを分かち合ってみましょう。

6.最後にーアナウンス